



## SUMMITS II

移りゆく業務環境の変化に適応し  
健診機関の業務全体最適化を実現する  
総合健診システム

弊社サービス、ならびに SUMMITS II についてのご質問等は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

**SPS 株式会社サン・プランニング・システムズ**

〒108-6307 東京都港区三田 3 丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー 7 階  
TEL : 03-5778-1244 Mail : [medical\\_info@sunplanning.co.jp](mailto:medical_info@sunplanning.co.jp)

株式会社サン・プランニング・システムズ

## 業務の属人化

担当者への業務の依存度が高く、組織のノウハウとして蓄積されていないため、業務が停滞するリスクを抱えている。

## 標準化されていない業務

業務プロセスが統一化されていないため、業務改善の推進が困難である。

## 顧客特有の業務への対応

顧客特有の報告書や請求条件にシステムが対応していないため、業務の負荷が高い。  
新たな顧客を獲得するにつれ負荷が増してゆく。

## システムの ブラックボックス化

判定や帳票出力がブラックボックス化されているために基準変更時の改修に時間が掛かる。  
また、品質を維持するための管理業務の負荷が高い。

## 統合されていないシステム

健診形態や機能ごとにシステムが存在するため複数システムを使用して業務を行わねばならず業務の効率が悪い。

# コスト削減と 品質向上のために

事業所、健康保険組合、市町村からの要求が多様化、高度化してきている中、健診機関として継続的な収益の拡大を実現するためには、変化に柔軟に対応できるプラットフォームを早期に整備することが重要なポイントになります。

私たち、サン・プランニング・システムズが提案する「SUMMITS II」は、健康診断業務の変化に柔軟に対応することが可能なソリューションです。健診機関の業務改善を推進する基盤となり「業務全体最適化」を実現し、「コスト削減」と「品質の向上」に貢献いたします。

## 主要なビジネスモデルを統合化した健診システム

### SUMMITS II

施設健診

巡回健診

ネットワーク健診

健診データ処理

# ユーザーニーズに応える SUMMITS II の3本柱

健診業務の効率化を見据えて、必要な機能をハイクオリティに搭載。  
ワンランク上のシステムが日々の健診業務に新たな変化をもたらします。

## FEATURE-1 : HIGH QUALITY

重要性の高い業務での進捗管理やチェック機能により  
高品質なアウトプットを実現します。

- 予約 | 予約時に選択できる健診コースを個人属性と受診資格に基づいて制限することにより、健診コースの割当てミスを防止します。
- 健診準備 | 受診票に同封物名を出力して、封入時に受診票と同封物の照合をすることにより、同封物の封入ミスを防止します。
- 工程管理 | 工程ごとに業務・作業とその順序及び納期を管理することにより、作業漏れの防止及び進捗管理を可能にします。
- 判定 | 判定業務の判定ロジックを可視化することで、判定結果の正確性を確認できるため、高品質な判定結果を実現します。
- 結果報告 | 結果報告書のデータ源・編集内容はユーザー定義したものであり、仕様がオープンになっているので、出力基準が明確です。

## FEATURE-2 : HIGH SPEED

大量かつ多種多様なデータに対するアクセスを最適化して  
高パフォーマンスを実現します。

### ■ 次世代自動判定システム

複雑な判定条件は推論エンジンで、その他の定型的な判定条件は効率性を優先したアルゴリズムで処理することにより、優れた高速性を実現します。



### ■ 帳票出力

多種多様なデータ源に対するアクセスを最適化した仕組みで、データを効率的に取得します。これにより速やかな帳票出力を実現します。  
過去歴を必要とする帳票の場合でも、過去歴データを高速に取得するための機能を使用しているので、優れたパフォーマンスを発揮します。

品質の向上

運用コストの削減

日々の業務改善

柔軟性の向上

高速性の追求

FEATURE

## FEATURE-3 : FLEXIBILITY

ユーザー自身による定義で、様々な機能を実現できます。  
プログラムの専門知識は必要ありません。

### ■ 外部データインポート機能

システム取込対象データのレイアウトと取込先を定義して、対象データをインポートできます。取込先として、問診回答、検査結果、判定結果など受診者情報を自由に設定できます。例えば、問診票・判定票のOCRデータや、検査機関の検査結果データをインポートできます。

### ■ 外部データエクスポート機能

テキストファイルのレイアウトや出力する項目を自由に設定してデータ出力する仕組みです。協会けんぽの結果報告や、顧客ごとの報告レイアウトに合わせてファイル出力内容を定義できます。

### ■ 次世代自動判定システム

プロダクション型ナレッジに判定ロジックを記述することで、自動判定システムの判定ロジックが定義されます。ナレッジに記述した判定ロジックは画面や帳票で確認できるので、判定の仕様がオープンになり理解しやすいものになります。またナレッジは、判定ロジックの変更にも柔軟に対応できます。

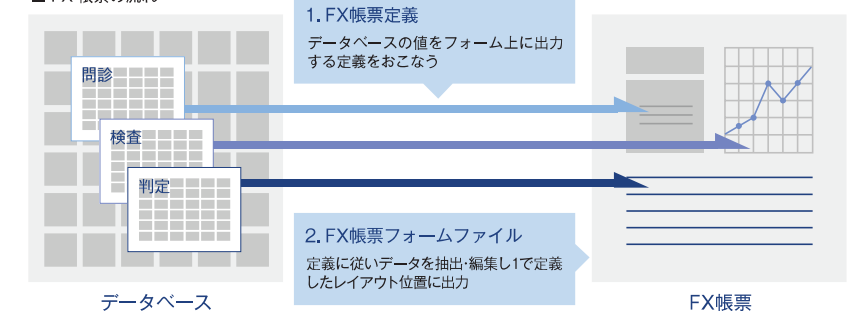
### ■ FXクロス集計(フレキシビリティクロス集計)

集計対象の項目と集計条件を自由に定義することが可能な仕組みです。集計対象の項目として、検査結果・判定結果等の受診者情報を自由に選択できます。また、年齢や性別などの条件を組み合わせ、多次元集計(クロス集計)を行うことができます。集計結果はExcelなどで自由に加工できます。

### ■ FX帳票機能(フレキシビリティ帳票機能)

帳票出力レイアウトと、出力項目に対するデータ源と編集方法を定義することで、FX帳票出力が可能です。また、帳票の抽出条件やソート・ブレイク条件を定義できます。帳票出力レイアウトや出力項目と編集内容を自由に定義できるので、様々なニーズに対応した帳票出力を実現できます。

### ■ FX 帳票の流れ





# 業務を改善するために SUMMITS II がお手伝いします

健診業務のさまざまなニーズを的確に把握した多機能が魅力。  
健診機関ごとのスタイルにフィットさせて、効率的にお使いいただけます。

契約

- 顧客と取り決めた健診内容・請求条件を、契約情報として登録します。  
以後の健診業務・請求業務の前提条件として適用します。**
- 契約情報の健診コースは、健診内容を表します。顧客ごとの様々な健診内容に合わせるために、コース名や検査項目を編集できます。
  - 請求条件として、健診コースに対する請求金額と請求内訳を登録します。各種値引条件や保険者上限などを設定できるので、様々な請求パターンに対応可能です。
  - 健診コースの受診可能条件を設定できます。条件には年齢・性別・保険資格等を指定することができます。

予定者  
登録

- 受診予定者情報を登録することで、予約や健診準備、受付業務を円滑に実施できます。**
- 受診予定者の登録が無くても、予約業務や健診準備業務を行うことは可能です。よって、施設健診での受診予定者登録は必須ではありません。ただし巡回健診の場合は、受診予定者の登録を行うことが、巡回健診現場業務を効率的に行うための必要条件です。
  - 受診予定者データのフォーマットや項目内容をインポート定義することにより、受診予定者データのファイル取込が可能になります。これにより、登録作業の負荷を軽減します。

予約

- 契約情報に基づいた正しい健診内容で、予約業務を実施できます。**
- 健診コースと検査室の空き状況をもとに、予約可能な日時を迅速に確認できます。予約業務の時間短縮を実現します。
  - 予約画面で選択可能な健診コースは、受診可能条件に基づいて絞り込んだものです。条件外の健診コースは選択できませんので、割当てミスを防止します。
  - 団体予約機能により、予約者が未定の場合でも、健保や事業所の健診日程希望にあわせて予約枠を確保することができます。
  - 予約時の気付き事項を登録することで、受付業務や検査業務において注意を促すことができます。

健診  
準備

- 各種準備帳票を出力して、健診準備業務を行います。**
- チェックリストに受診者毎の同封物名などを出力し、受診票の発送時にチェックリストに基づいて検品する事で、同封物の封入ミスを防止します。
  - 現場スタッフに対して、指示書に基づいて適切な指示を出すことができるため、指示漏れを防止します。

受付

- 受付機能により、契約情報に基づいた健診内容で迅速に、受付業務を実施します。**
- 当日に検査内容の変更があった場合に、契約情報に基づいた対応を行うことができます。例えば、食事を取ったので胃X線を実施しない場合、健診コースの切替は受診可能条件内に限定されるので、間違った健診内容や請求条件が設定されることはありません。
  - 当日に検査内容の変更があった場合に指示書を出力して、現場スタッフに対して変更の旨を周知できます。
  - 予約時の申し送り事項を、受付画面で参照できます。

検査

- 検査の正確な実施と、円滑な通過管理を実施することができます。**
- 検査画面と計測機器を連携して、検査値を自動登録することができます。例えば血圧計と連携することにより、検査値の誤入力を防止します。また、検査画面に表示した過去歴・既往歴と検査値を確認することで、異常値の入力を防止できます。
  - 検査画面で、検査が完了した旨を登録することができます。これにより窓口や案内所で、検査の実施状況を把握できます。また、受診者の未受診項目を把握した上で案内することで、検査の円滑な実施を実現します。

面接

- 健診医の面接業務を支援します。**
- 受診者情報を把握できる様に、受診者の個人属性・検査結果・既往歴・問診を画面に表示します。受診者情報の印刷が不要になるので、ペーパーレス化に寄与します。
  - 検査結果の経年推移を把握できる様に過去歴を表示します。また、経年推移をグラフ表示して、より視覚的に表現することも可能です。表示する検査項目はユーザー定義により変更できます。

窓口  
入金

- 窓口業務の負荷を軽減します。**
- 受診者の検査実施状況を窓口画面で把握し、未実施項目が残っている受診者に対して検査を促すことができます。これにより、検査漏れを防止できます。
  - 請求条件から算出した窓口負担額と入金額を照合することで、過誤入金を防止できます。また、領収書出力機能により、窓口での領収書発行業務の負荷を軽減します。
  - 検査当日の総売上額、総入金額、入金内訳などを確認できます。確認帳票の作成などの業務負荷が減少します。

検査値  
入力

- 検査値入力などの業務作業をToDo管理する機能により、工程管理を実現します。  
検査結果の登録をサポートする仕組みにより、検査値入力業務を効率化します。**
- 業務・作業の定義を登録することにより、情報処理工程のToDo管理を行います。作業の未実施状況を把握して、作業漏れを防止します。これにより、作業の進捗状況に基づいて遅延対策を早急に実施できます。
  - 個人属性、問診、検査結果などの、受診情報ごとの画面を用意しています。また、これらの画面に表示する項目をマスタ定義して、絞り込む機能を有しています。入力担当者のデータ操作範囲を限定し、操作性を向上します。
  - 受診票OCRデータや検査機関の検査結果データなどの多種多様なデータ源から、インポート機能による結果取込を行って作業効率を向上することができます。

判定  
入力

- 読影医・判定医の判定結果の登録を容易にするための仕組みを用意しています。**
- 読影医・判定医自身による入力業務効率向上のために、各種判定作業に適した画面を用意しています。
  - オペレーターによる入力業務のために、判定票のレイアウトに合わせた画面を用意しています。また、キーボード入力による操作性向上により、判定結果の入力時、項目確認時の負荷を軽減します。
  - 判定票OCRデータのフォーマットとデータ内容をインポート定義することにより、各種判定票からの取込機能を柔軟に構築できます。

自動  
判定

- 自動判定を行うことにより、判定結果と総合所見を導出します。**
- 自動判定の基準値・ロジックは、全てユーザーによる設定が可能です。基準値・ロジックが可視化されるので、判定条件が分かりやすくなります。
  - 基準値は、性別・年齢・問診等の条件ごとに定義できます。また、ユーザー標準の基準値に加えて、検査機関、顧客特有の基準値を定義できます。基準値の共通部分を一元管理し管理業務の負荷を軽減します。
  - ナレッジに定義した判定ロジックに従って、推論エンジン判定を行い判定結果を導出します。ナレッジの条件には、受診者の個人属性・検査結果・既往歴・問診・判定結果・過去歴など、全ての受診情報を使用できます。
  - 総合所見を生成するロジックをナレッジに定義して、推論エンジンにより総合所見を導出します。これにより、総合所見生成が自動化され、受診者一人一人の総合所見を入力する業務が不要になります。

結果  
報告

- 契約情報で登録した出力対象帳票と健診内容に従って、結果報告を行います。**
- 健診コースごとに出力する帳票を、契約情報で登録します。これにより、結果報告書を出力する際の、出力対象帳票の選択が不要になります。結果報告時の帳票選択の負荷を減少し、帳票選択ミスを防止します。
  - 業務・作業の定義に、結果報告の出力対象帳票を定義できます。結果報告業務の進捗管理を行うとともに、帳票出力漏れを防止します。
  - 結果報告書の発送単位を登録することで、発送業務の進捗管理を行います。また、結果報告書の発送漏れリスクを軽減できます。

請求

- 請求条件と健診内容に従って、請求処理を行います。**
- 契約情報に登録した請求条件と、請求対象受診者の健診内容に基づいて、請求処理で請求金額を算出します。これにより業務負荷を大幅に軽減します。
  - 請求業務の作業単位を登録することで、請求業務の進捗管理を行います。これにより請求漏れを防ぐことができます。
  - 送り状を出力する機能により、請求書送付業務の負荷を軽減するとともに、宛先間違いの防止を実現します。
  - 合計請求や分割請求などの、請求業務の様々なニーズに答えることが可能な仕組みです。





## 巡回健診計画管理

- 車両、機材、医師、スタッフのリソース管理を一元化でき、効率的な巡回健診計画を行えます。
- 未割当てリソースを確認しながら効率的に計画を組むことが可能です。健診日程毎のリソース手配状況も管理されるので、手配漏れの確認も容易になります。
- 計画に紐付けた健診コース毎の予定人数から医師やスタッフの適正人数を導出しますので、それを参考にしながらリソースの割当てを効率よく行えます。
- 巡回健診指示書の出力が可能です。業務確認書やコース別検査項目一覧、リソース一覧等を使用して準備作業をスムーズに進めることができますようになります。

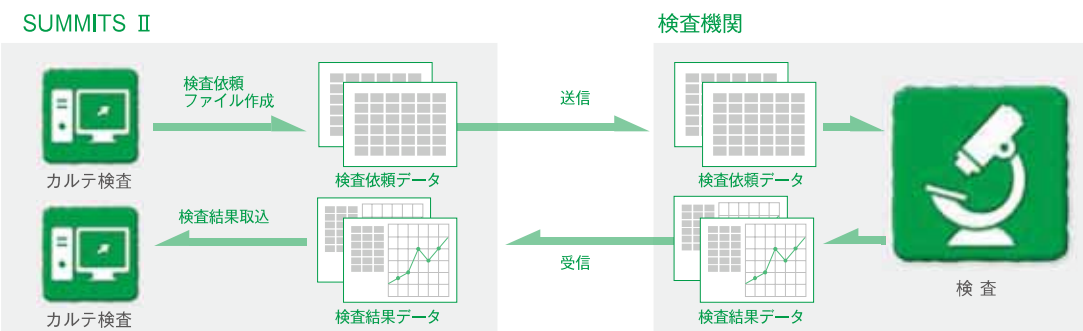
## 巡回健診現場受付

- PCを利用した現場受付が可能です。受診票バーコードスキャンにより受診者を特定し、名簿確認に手間を掛けることなく迅速な受付を行えます。職域(事業所)健診と住民健診、それぞれ専用の受付画面を用意しています。
- 現場での健診コース追加・変更、未実施検査登録、後日受診検査登録にも対応しています。また窓口負担請求がある場合には領収書の発行も可能です。
- 検査機関への検査依頼データを現場で作成できるので、迅速な検査依頼が可能になります。
- 実績報告書を現場で作成して顧客に対して迅速な報告を行うことができます。
- 現場での受診実績を健診システム本体に取り込むことで、受診実績の正確性を確保します。



## 臨床検査システム連携

- 検査依頼、結果取込みは、院内ラボ及び外部検査機関とのデータ連携が可能です。
- 検査機関毎の判定基準の違い、検査項目コードの違いに対して柔軟に対応しています。検査機関へは顧客と取り決めた検査処理特殊条件を指示することができます。これにより複数の検査機関への検査依頼、結果取込みが可能です。
- 検査結果取込み時には、健診機関仕様、顧客仕様に準じたパニック値をチェックし報告リストを出力できます。



## 通過管理

- 通過管理機能により、受診者の待ち時間、検査室待ち人数、検査実施状況を把握できます。全体状況を判断した上で適切なルート案内が可能です。先行禁止条件に対応していますので誤った順序で案内することはありません。
- 計測機器と連携して検査値を取り込むことで、検査値の誤入力を防止します。
- 健診終了時は検査の完了チェックを行い、未実施項目があればアラート表示しますので、検査漏れを防止できます。
- 通過管理状況はデータ出力ができるので、検査室毎の待ち人数、待ち時間、検査実施時間を分析し、検査ルートの見直しに役立てることができます。

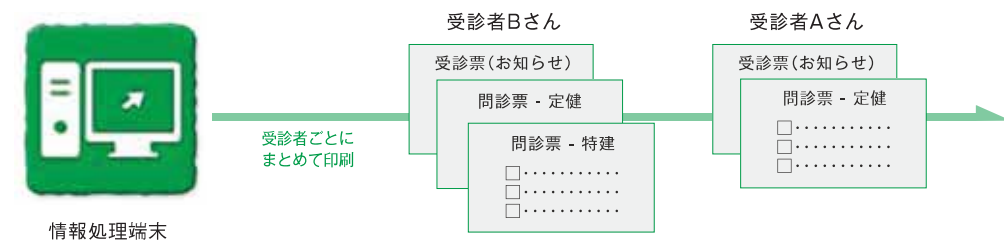
## 読影・判定入力

- 判定医による読影入力用として、各臓器別に専用画面を用意しています。DICOMビューワーによる画像システム連携を行い、前回所見・判定を確認しながら読影を行うことが可能です。1次読影、2次読影、比較読影にも対応しています。
- 他社読影レポートシステムとの連携も可能です。受付データに基づいた読影レポートシステムへの読影依頼と、読影結果の自動取込みに対応します。



## 納品管理・印刷

- 契約時に取り決めた顧客毎の納品物の条件を管理できます。これにより、顧客毎に何を(結果通知書、健診結果一覧、健診結果データファイル等)、どのように(抽出条件、ソート条件、部数)、どこへ(個人・団体等の発送先)納品するのか、条件に従った印刷処理と発送管理を行えるようになり、納品業務の手間を省きミスを削減します。
- 帳票印刷時にはセット印刷機能により受診者毎の括りで印刷物を出力することも可能です。種類別に印刷した帳票を個人別に仕分けするなど丁合作業を不要にします。



## 協会けんぽ対応

- 協会けんぽの健診に対応しています。名簿管理、健診結果データ出力、請求書・実施報告書出力を効率よく行えます。
- 協会けんぽ専用の検査未実施時の減額ルール、キャンセル報告書、名簿の健診内容と実際の健診内容が異なる場合の変更届出力にも対応しているので、担当者の負担を大幅に軽減できます。
- 協会けんぽからの入金管理として、入金登録、消込処理にも対応しています。

## 東振協対応

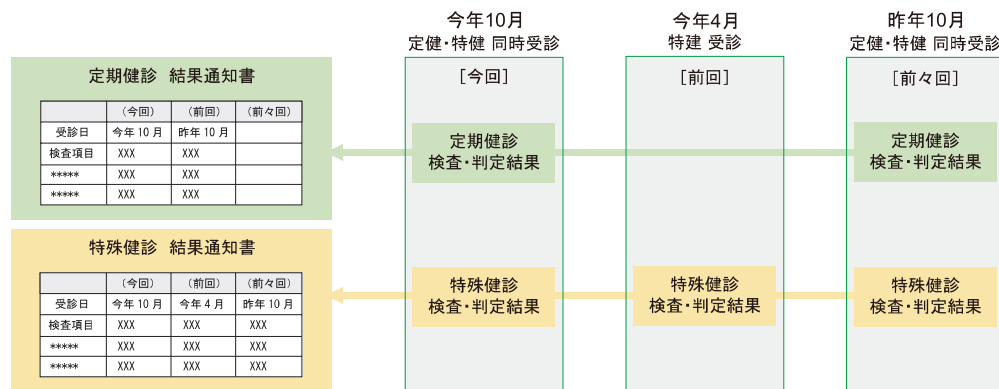
- 東振協の健診結果データ出力に対応しています。東振協独自の健診データ項目「総合診断」「精密検査項目」「医師指示事項」の導出ルールや、所見・診断コードへの変換ルール定義を行うことで、これまで手間が掛かっていた東振協データを簡単に作成できるようになります。
- 東振協コースとオプションコースを同時受診した場合でも、東振協コースで受診した検査項目のみをデータ出力します。判定結果も東振協コースに限定した検査項目で導出します。

## 特定健診対応

- 特定健診の契約から請求、XML ファイル出力、返戻管理に至るまでシステムで対応しています。
- XML ファイル出力では、厚生労働省ガイドラインに準拠した標準フォーマット(XML)による健診結果情報ファイル・決済情報ファイル・集計情報ファイルの出力を行えます。また特定健診標準以外の検査・判定項目にも、JLAC10コードのマスタ登録を行うことでXML ファイル出力が可能になります。
- 住民健診では、集合契約の受診者に対して、受診券に基づいた受付が可能です。また保険証の資格喪失、受診券資格喪失の情報を予め登録しておくことにより、受診資格の無い人の受診を防止できます。

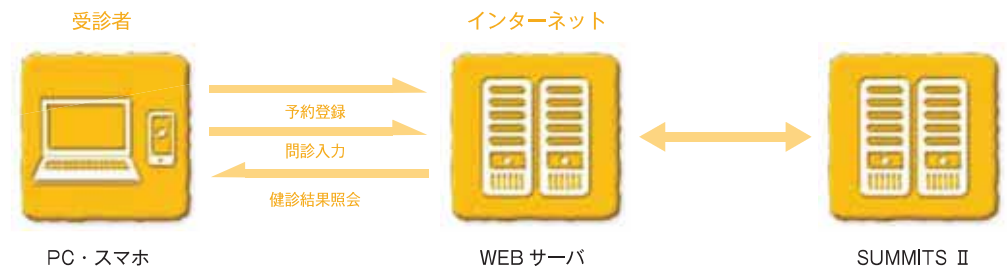
## 特殊健診対応

- 特殊健診のコースマスタには初期設定として、有機溶剤、鉛、四アルキル鉛、特定化学物質、高気圧業務、電離放射線、石棉、じん肺、歯科、VDT、腰痛、騒音、振動等150種以上を用意しています。
- 定期健診と特殊健診の同時受診に対応しています。定期健診・特殊健診の同一検査項目に対して煩雑になりがちな検査依頼時の対応や、2重管理による検査結果登録・修正作業は不要となり、特殊健診の結果処理業務を効率化し改善します。結果通知書はそれぞれの過去歴を正しく分離して作成します。顧客への請求における重複検査項目の減額にも対応しています。



## SUMMITS II WEBシステム

健診システムと一体化したWEBシステムにより担当者の負担を軽減し  
受診者の満足度向上と健診売上に寄与します



## WEB 予約システム

- 受診資格に従った受診可能なコースだけを自動表示し、その場で自己負担額も表示できるので、オペレータが介在することなくインターネット上で予約を完了させることができます。
- 受診者はリアルタイムな空き状況を確認できるので、効率的に空き枠へ予約を埋めることができます。希望日を受けて調整後、再度受診者へ連絡を取り予約日を確定させる作業がなくなります。
- 24時間対応により、受診者へ気軽に予約しやすい環境を提供することで予約を増やし、受診者の獲得に貢献します。またオプション検査の受診勧奨も行えるので、オプション検査の受診率向上に寄与します。

## WEB 問診システム

- 事前にインターネット経由で問診票へ回答していただくことにより、入力作業やOCR取込作業の手間が無くなり、健診当日はスムーズに案内ができるようになります。
- 当日の検査、診察時は、問診内容を画面で見ながら受診者への説明ができるようになります。

## WEB カルテシステム

- インターネット経由で健診結果の照会を行えるサービスを受診者へ提供することで、顧客サービスをさらに強化することができます。
- 健診結果は過去歴を含めた経年変化を表示しますので、永続的な顧客としての固定客化を促します。
- 結果照会が可能になるタイミングで受診者に通知メールを自動送信しますので、オペレータの負担が増えることはありません。